

糖尿病素案作成に向けた施策の方向性と指標の目標値について

- 1 「定義」「出典」について
各指標における「定義」「出典」を記載
- 2 各指標における施策の方向性の紐づけについて
・素案で各所管課が記載した施策の方向性をシート「③施策の方向性一覧」で分類
・上記で分類した「区分」を本シートの「施策の方向性について」で各指標に記載
- 3 「計画策定時の値」、「令和11年度目標値」について
「計画策定時の値」 現状把握できる現状値で設定
「令和11年度目標値」 計画期間6年で達成する目標値で設定
- 4 目標設定の考え方について
・他計画で目標設定した指標は同じ目標値を設定
・過去データから推移を確認できる指標は過去データから設定
・全国平均と比較して、設定

施策の位置づけ	ロジックモデル	指標番号	指標名	定義	出典	所管課/備考メモ	施策の方向性について	計画策定時の値 (データの年度)	令和11年度 目標値	目標設定の考え方
糖尿病の予防	初期	1	C101 特定健診受診率	特定健康診査受診者数/特定健康診査対象者数(推計)×100	厚生労働省, 特定健康診査の実施状況	医療保険課	a2、a3、a4、a5、a6	56.2% (R3)	70%	医療費適正化計画と同様に特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針第2の一「特定健康診査の実施に係る目標」に基づいて目標設定
糖尿病の予防	初期	2	C102 特定保健指導実施率	特定保健指導(積極的支援・動機づけ支援)修了者数/特定保健指導(積極的支援・動機づけ支援)対象者数×100	厚生労働省, 特定健康診査・特定保健指導に関するデータ	医療保険課	a4、a5、a6	20.1% (R3)	45%	医療費適正化計画と同様に特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針第2の二「特定保健指導の実施に係る目標」に基づいて目標設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	初期	3	C201 糖尿病専門医数(人口10万人当たり)	日本糖尿病学会糖尿病専門医数(人口10万人当たり)	厚生労働省, 医療施設調査 総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数	医療課	b2	4.5人 (R4)	4.9人	有病者数に比例して目標を設定 健康日本21(第3期)「糖尿病有病者数(糖尿病が強く疑われる者)の推計値」 R14: 1350万人 健康日本21(第2期)「糖尿病有病者数(糖尿病が強く疑われる者)の現状値」 R元: 1150万人 1年あたり約15.4万人増加 計画策定時の値 R4: 1196.2 目標値 R11: 1303.8 C201 糖尿病専門医数(人口10万人当たり) 4.5: 1196.2 = x: 1303.8 1196.2 x = 5867.1 x = 4.904 ≈ 4.9 →6年間で糖尿病専門医約36人の増加
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	初期	4	C202 糖尿病療養指導士数(人口10万人当たり)	日本糖尿病療養指導士認定機構認定指導士数(人口10万人当たり)	日本糖尿病療養指導士認定機構認定指導士数(人口10万人当たり)	医療課	b2	10.9人 (R4)	11.9人	有病者数に比例して目標を設定 C202 糖尿病療養指導士数(人口10万人当たり) 10.9: 1196.2 = x: 1303.8 1196.2 x = 14211.42 x = 11.88 ≈ 11.9 →6年間で糖尿病療養指導士約90人の増加
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	初期	5	C203 神奈川県糖尿病療養指導士数(人口10万人当たり)	神奈川県糖尿病療養指導士認定機構認定指導士数(人口10万人当たり)	神奈川県糖尿病療養指導士(地域CDE)認定者数の推移 総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数	医療課	b2	5.6人 (R4)	6.1人	有病者数に比例して目標を設定 C203 神奈川県糖尿病療養指導士数(人口10万人当たり) 5.6: 1196.2 = x: 1303.8 1196.2 x = 7301.28 x = 6.103 ≈ 6.1 →6年間で神奈川県糖尿病療養指導士約45人の増加
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	初期	6	C204 特定健康診査での受診勧奨により実際に医療機関へ受診した糖尿病未治療患者の割合	(令和5年12月把握予定)	(令和5年12月把握予定)	医療保険課	c1、c2、c3	(令和5年12月把握予定)	—	—

施策の位置づけ	ロジックモデル	指標番号	指標名	定義	出典	所管課/備考メモ	施策の方向性について	計画策定時の値 (データの年度)	令和11年度 目標値	目標設定の考え方
糖尿病の予防	中間	7	B101 特定健診受診率（再掲）	特定健康診査受診者数／特定健康診査対象者数（推計）×100	厚生労働省，特定健康診査の実施状況	医療保険課	a2、a3、a4、a5	56.2%（R3）	70%	医療費適正化計画と同様に特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針第2の一「特定健康診査の実施に係る目標」に基づいて目標設定
糖尿病の予防	中間	8	B102 特定保健指導実施率（再掲）	特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）修了者数／特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）対象者数×100	厚生労働省，特定健康診査・特定保健指導に関するデータ	医療保険課	a4、a5	20.1%（R3）	45%	医療費適正化計画と同様に特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針第2の二「特定保健指導の実施に係る目標」に基づいて目標設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	中間	9	B201 インスリン治療の実施割合	分子：分母に含まれる患者のうち、1年間でインスリン処方1度以上あり、かつ、在宅自己注射指導管理料の算定が1度以上あった糖尿病患者の数 分母：糖尿病定期受診（4か月以上受診間隔が空かない）をしている患者数※当該年度に入院した患者を除く	厚生労働省，NDB	医療課	b1、b3、c1、c2	14%（R3）	14%以上	本県は限られた医療資源で全国平均値を上回る実績を上げている。今後も糖尿病患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、増加を目標として設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	中間	10	B202 HbA1cもしくはGA検査の実施割合	分子：分母に含まれる患者のうち、HbA1c検査もしくはグリコアルブミン（GA）検査が1年間で1度以上あった患者数 分母：糖尿病定期受診（4か月以上受診間隔が空かない）をしている患者数※当該年度に入院した患者を除く	厚生労働省，NDB	医療課	b1、c1、c2	95%（R3）	95%以上	今後も糖尿病患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、増加を目標として設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	中間	11	B203 尿中アルブミン・蛋白定量検査の実施割合	分子：分母に含まれる患者のうち、アルブミン定量（尿）もしくは蛋白定量（尿）検査が1年間で1度以上あった患者数 分母：糖尿病定期受診（4か月以上受診間隔が空かない）をしている患者数※当該年度に入院した患者・200床以上の施設で処方を受けている患者を除く	厚生労働省，NDB	医療保険課	b1、c1、c2	22.2%（R3）	22.2%以上	本県は限られた医療資源で全国平均値を上回る実績を上げている。今後も糖尿病患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、増加を目標として設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	中間	12	B204 眼底検査の実施割合	分子：分母に含まれる患者のうち、眼底検査が1年間に1度以上あった糖尿病患者 分母：糖尿病定期受診（4か月以上受診間隔が空かない）をしている患者数※当該年度に入院した患者を除く	厚生労働省，NDB	医療保険課	b1、c1、c2	40.4%（R3）	40.4%以上	本県は限られた医療資源で全国平均値を上回る実績を上げている。今後も糖尿病患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、増加を目標として設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	中間	13	B205 クレアチニン検査の実施割合	分子：分母に含まれる患者のうち、（血清）クレアチニンが1年間に1度以上あった患者数 分母：糖尿病定期受診（4か月以上受診間隔が空かない糖尿病患者）をしている患者数※当該年度に入院した患者を除く	厚生労働省，NDB	医療保険課	b1、c1、c2	92.7%（R3）	92.7%以上	今後も糖尿病患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、増加を目標として設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	中間	14	B206 外来栄養食事指導の実施割合	分子：分母に含まれる患者のうち、外来栄養食事指導料、集団栄養食事指導料が1年間で1度以上算定された患者数 分母：糖尿病定期受診（4か月以上受診間隔が空かない糖尿病患者）をしている患者数※当該年度に入院した患者を除く	厚生労働省，NDB	医療課	b1、c1、c2	7%（R3）	7%以上	本県は限られた医療資源で全国平均値を上回る実績を上げている。今後も糖尿病患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、増加を目標として設定
糖尿病の予防	中間	15	B207 糖尿病患者の年齢調整外来受療率	糖尿病患者の年齢調整外来受療率（10万人対） 基準人口：昭和60年人口モデル	厚生労働省，患者調査	医療保険課	c1、c2、c3、c4	95%（R2）	95%以上	本県は限られた医療資源で全国平均値を上回る実績を上げている。今後も糖尿病患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、増加を目標として設定

施策の位置づけ	ロジックモデル	指標番号	指標名	定義	出典	所管課/備考メモ	施策の方向性について	計画策定時の値(データの年度)	令和11年度目標値	目標設定の考え方
糖尿病の予防	最終	16	A101 糖尿病有病者数(40-74歳)	(令和5年12月把握予定)	神奈川県、かながわ健康プラン21	医療保険課・健康増進課	a1、a2、a3、a4	(令和5年12月把握予定)	—	—
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	最終	17	A201 糖尿病患者の年齢調整死亡率(男性)	当該年の人口動態統計死亡数を当該年の人口で除した死因別年齢階級別粗死亡率及び基準人口(昭和60年の国勢調査人口を基に補正した人口)を用いて、以下の式で算出： $\frac{\sum (\text{年齢5歳階級別、糖尿病を死因とする粗死亡率}) \times (\text{基準人口の当該年齢階級の人口})}{\text{基準人口の総数}}$	厚生労働省、人口動態特殊報告	医療課(医療保険課・健康増進課)	b、c	3.8%(H27)	3.8%以下	本県は限られた医療資源で全国平均値を下回る実績を上げている。今後も糖尿病の患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、減少を目標として設定 【参考値】H22 4.8%
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	最終	18	A202 糖尿病患者の年齢調整死亡率(女性)	(令和5年12月把握予定)	厚生労働省、人口動態特殊報告	医療課(医療保険課・健康増進課)	b、c	1.9%(H27)	1.9%以下	本県は限られた医療資源で全国平均値を下回る実績を上げている。今後も糖尿病の患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、減少を目標として設定 【参考値】H22 3.8%
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	最終	19	A203 糖尿病治療を主にした入院の発生(DKA・昏睡・低血糖などに限定)(糖尿病患者1年当たり)	(令和5年12月把握予定)	(令和5年12月把握予定)	医療課	c1、c2、c3、c4	(令和5年12月把握予定)	—	—
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	最終	20	A204 糖尿病性腎症に対する新規人工透析導入患者数(人口10万人当たり)	原疾患が糖尿病性腎症である新規透析導入患者数(人口10万人当たり)	日本透析医学会、わが国の慢性透析療法の現況 総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数	医療保険課・健康増進課	c1、c2、c3、c4	9.6人(R3)	8.1人	新規透析導入患者数に比例して目標を設定 かながわ健康プラン(第3次)「合併症(糖尿病腎症)による年間新規透析導入患者数目標値」R14 700人 かながわ健康プラン(第2次)「糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数直近実勢値」 R3 883人 1年に16人減少と仮定(R11:748人) $9.6:883=x:748$ $883x=123841$ $x=8.132 \approx 8.1$ →6年間で新規人工透析導入患者数を約135人の減少
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	最終	21	A205 治療が必要な糖尿病網膜症の発生(糖尿病患者1年当たり)	分子：糖尿病網膜症治療(網膜光凝固術、硝子体茎頭微鏡離断術など)の算定が1度以上あった糖尿病患者数 分母：1年間で糖尿病薬処方1度以上あった糖尿病患者数	厚生労働省、NDB	医療保険課	c1、c2、c3、c4	1.5%(R3)	1.5%以下	本県は限られた医療資源で全国平均値を下回る実績を上げている。今後も糖尿病の患者数増加が見込まれる中、効率的な治療・検査等の実施により、現在の値を維持、減少を目標として設定
糖尿病の治療・重症化予防・合併症予防	最終	22	A206 糖尿病患者の下肢切断の発生(糖尿病患者1年当たり)	(令和5年12月把握予定)	(令和5年12月把握予定)	医療保険課	c1、c2、c3、c4	(令和5年12月把握予定)	—	—

施策の位置づけ	ロジックモデル	指標番号	指標名	定義	出典	所管課/備考メモ	施策の方向性について	計画策定時の値 (データの年度)	令和11年度 目標値	目標設定の考え方
	参考指標	23	1型糖尿病に対する専門的治療を行う医療機関数（人口10万人当たり）	1年間でインスリン処方が1度以上あり、かつ診療行為よりシリンジポンプに関連する加算を算定した患者が抽出された医療機関数（人口10万人当たり）	厚生労働省、NDB 総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数	医療課		0.9機関（R3）		
	参考指標	24	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠に対する専門的治療を行う医療機関数（人口10万人当たり）	在宅妊娠糖尿病患者指導管理料を算定している医療施設数（人口10万人当たり）	厚生労働省、NDB 総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数	医療課		1機関（R3）		
	参考指標	25	腎臓専門医が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	日本腎臓学会腎臓専門医が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	日本腎臓学会「腎臓専門医別人数（日本腎臓学会HP）」	医療課		2.5機関（R4）		
	参考指標	26	歯周病専門医が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	日本歯周病学会歯周病専門医が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	日本歯周病学会「歯周病専門医の認定状況」	医療課		0.7機関（R4）		
	参考指標	27	糖尿病網膜症に対する専門的治療を行う医療機関数（人口10万人当たり）	1年間で糖尿病薬処方が1度以上あった糖尿病患者に対し、糖尿病網膜症治療（網膜光凝固術、硝子体茎頸微鏡離断術など）を算定した医療機関数（人口10万人当たり）	厚生労働省、NDB	医療課		4.7機関（R3）		
	参考指標	28	糖尿病性腎症に対する専門的治療を行う医療機関数（人口10万人当たり）	糖尿病透析予防指導管理料が算定されている医療機関数（人口10万人当たり）	厚生労働省、NDB	医療課		0.5機関（R3）		
	参考指標	29	糖尿病足病変に対する専門的治療を行う医療機関数（人口10万人当たり）	糖尿病合併症管理料が算定されている医療機関数（人口10万人当たり）	厚生労働省、NDB	医療課		1.7機関（R3）		
	参考指標	30	糖尿病専門医が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	糖尿病専門医が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	日本糖尿病学会、糖尿病専門医の認定状況 総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数	医療課		2.7機関（R4）		
	参考指標	31	糖尿病療養指導士が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	糖尿病療養指導士が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	日本糖尿病療養指導士認定機構、糖尿病療養指導士の認定状況 総務省「住民基本台帳」に基づく人口、人口動態及び世帯数	医療課		3.3機関（R4）		
	参考指標	32	神奈川糖尿病療養指導士が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	神奈川糖尿病療養指導士が在籍する医療機関数（人口10万人当たり）	（令和5年12月把握予定）	医療課		（令和5年12月把握予定）		
	参考指標	33	糖尿病透析予防指導もしくは糖尿病合併症管理の実施割合	分子：分母に含まれる患者のうち、糖尿病透析予防指導管理料または糖尿病合併症管理料のいずれかが1年間で1度以上算定されている患者数 分母：糖尿病定期受診（4か月以上受診間隔が空かない）をしている患者数※当該年度に入院した患者を除く	厚生労働省、NDB	医療保険課		0.7%（R3）		
	参考指標	34	治療継続者の割合	分子：「1今まで継続的に受けている」「2過去に中断したことがあるが現在は受けている」の合計 分母：「これまでに医療機関や健診で糖尿病といわれたと回答した者」	神奈川県、県民健康・栄養調査	医療保険課・健康増進課		71.1%（H29～R1）		
	参考指標	35	重症低血糖の発生（糖尿病患者1年当たり）	分子：1年間で糖尿病薬処方が1度以上あり、かつ、低血糖病名と同時に50%ブドウ糖静脈注射がされている患者数 分母：1年間で糖尿病薬処方が1度以上あった糖尿病患者数	厚生労働省、NDB	医療課		0.9%（R3）		
	参考指標	36	糖尿病が強く疑われる者の数	NDB「疾病分類別 糖尿病」に該当する患者数 ※1型糖尿病も含まれている ※全年齢計	厚生労働省、NDB	医療保険課・健康増進課		439,222人（R3）		
	参考指標	37	糖尿病予備群の者の数	ヘモグロビンA1cの測定値がある者のうち、ヘモグロビンA1c（NGSP）値が6.0%以上、6.5%未満で、糖尿病が強く疑われる者以外を「糖尿病の可能性を否定できない者」とし、その割合に総務省統計局「人口推計（令和元年10月1日現在）」の本県推計人口を乗じたものを合計することで本県推計値を算出	厚生労働省、国民健康・栄養調査	医療保険課・健康増進課		1,168,146人（R元）		